

令和6年定例会3月会議一般質問

No. 1		
2 番	三 瓶 一 壽 議員	備 考
質問事項	質 問 要 旨	
1 田村高校生 通学路（切通し）の防犯灯照明の見直しについて	田村高校生が通学路として利用している部分（切通し）の防犯灯照度について調査確認し、安全・安心な環境を整備すべきと考えるが、過去に検討したことがあるのか伺います。また、検討していないならば、至急対応を進めるとともに、対応内容を地域をはじめとする関係者に周知すべきと思うがいかがか。	
2 三春中学校 及び田村高校寮からの主要な通学路の歩道の安全確保と防犯灯照明の対策について	貝山地区の三春中学校及び田村高校寮から、町中心部の中町駐車場付近までの通学路については、歩道の安全確保と防犯灯の整備が必要と考えるが、過去に検討したことがあるのか伺います。また検討していないならば、至急対応を進めるとともに、対応内容を地域をはじめとする関係者に周知すべきと思うがいかがか。	

令和6年定例会3月会議一般質問

No. 2		備 考
5 番	山 崎 ふじ子 議員	
質問事項	質 問 要 旨	
1 町内のさくらの古木について	<p>三春町は滝桜をはじめ、多くのしだれ桜や山桜が咲き競う町です。町では、町内の桜の木を調査している。</p> <p>1) 調査の結果、どのような桜が何本あったのか。</p> <p>2) 今後、どのように保存を考えているのか。</p>	
2 相続登記の義務化と相続土地国庫帰属制度について	<p>人口減少が進む中で、相続人がいない方や子孫が相続をためらう方が増えている。国は、新しい制度を提示している。</p> <p>1) 町内の持ち主不明の土地は、何筆か。</p> <p>2) 4月から、相続登記の申請が義務化されるが、具体的にはどのような内容か。</p> <p>3) 相続土地国庫帰属制度とは、どのような制度か。</p>	

令和6年定例会3月会議一般質問

No. 3		備 考
15 番	鈴 木 利 一 議員	
質問事項	質 問 要 旨	
1 手話の普及について	<p>令和3年1月1日から三春町手話言語条例が施行されました。この条例では、手話は言語であるとの認識に基づき、町では手話の理解及び普及に努めるとしています。</p> <p>1) 町公式行事における手話通訳の配置の考え方と、これまでの実績はどのようになっているか。</p> <p>2) 手話奉仕員の人数とレベルアップのための施策は。</p> <p>3) 学校における手話の理解及び普及のための手話教室などの実績は。</p>	
2 三春町地域公共交通計画について	<p>令和5年3月に三春町地域公共交通計画が策定されました。この計画では町営バスについて</p> <p>1) 列車発着に合わせた運行時間の変更。</p> <p>2) 中心市街地と各地区拠点間をピストン輸送するコースへの見直し。</p> <p>3) スクールバス混乗コースの拡大。また移動支援の継続として中郷地区、沢石地区で行っている事業を、他地区でも実施などが盛り込まれていますが、先日の全員協議会で示された新年度からの町営バスの見直しでは、地域公共交通計画の内容が全く反映されていません。地域公共交通計画と町営バス見直しの整合性は。</p>	

令和6年定例会3月会議一般質問

No.4		
6 番	石 井 一 正 議員	備 考
質問事項	質 問 要 旨	
1 農業の規模拡大を推進し、収入増を試みてはどうか	三春町は、新規農業者の育成に営農計画に対する助言、技術指導、農地のあっせんをするとのことですが、農業者の法人化や6次産業化を推進するなど、「大規模経営」を進めていってはどうか。	
2 新規就農者の参入を推進するための規制緩和による「農業特区」をつくってはどうか	三春町は工業団地の造成、分譲や所得安定化のための企業誘致、農用地の転用などを進めておりますが、スピード感をもって臨むことが大事だと思います。 規制緩和により「農業特区」をつくり、農業者が参入しやすいように、短期間で農地や宅地を確保できるようにするため、宅地と農地をセットで提供する事業を取り入れてはどうか。	

令和6年定例会3月会議一般質問

No.5		
14番	遠藤亮子 議員	備考
質問事項	質問要旨	
<p>1 高齢者世帯（一人暮らし）への日常的サポート</p>	<p>1) 現在、町内には一人暮らしの方をはじめ、高齢者世帯が町が委託している弁当を依頼しているかと思いますが、月契約ではなく、契約外の方がスポットで注文することはできないのでしょうか。</p> <p>家族で出かけたくても、食事のことを考えるとなかなか出かけられない。作り置きしていけば良い話になると思いますが、時間（食中毒）的に不可能な場合もあるのではないのでしょうか。</p> <p>2) 介護される側、する側の立場から、日常的サポートを必要とするご家庭も多いかと思いますが。そこで町が窓口になり、家事代行サービスの導入を提案したいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>郡山市では、家事代行サービスがかなり普及しています。介護する側のご家族の方にも、少しでも休める時間を設けるのも必要かと思いますが。高齢化が進む中、介護する側も必然的に年齢を増していきます。介護疲れからも、解放となる一つの手段ではないかと考えられます。</p> <p>また、一人暮らしの方へ定期的な訪問をすれば、孤独死も防げるのではないのでしょうか。</p> <p>3) 目を離せない高齢者と生活を共にするご家族から、「少しでも近くにお店があったら」というお話を伺ったことがあります。昨年の11月に、認定農業者協議会の方々と意見交換会の際に、農作物が売れず廃棄処分になっているとの事でした。農家さんとの連携で、配達もしくは近隣の場所を確保し、移動販売（マルシェ）時短で必要な物を購入できるのではないのでしょうか。もちろん野菜だけではなく、商工会加入店の方々との連携も可能になってくるのではないのでしょうか。</p>	

令和6年定例会3月会議一般質問

No.6	10番 篠崎 聡 議員		備考
質問事項	質問要旨		
1 なり手不足は	<p>当町でも、様々な商売、農業、PTA、地区役員、議員などなり手不足や後継者不足などが、課題になっています。その中でも深刻なのが、自治会役員の担い手不足ではないでしょうか。もうこの時期であれば、すでに自治会の新役員は、決定していることと思います。しかし、なりたくて役員を引き受けている方は、少ないと思います。少子高齢化、定年延長などで地域から人材を探すのは、年々難しい状況になっています。</p> <p>1) 働いている人でも役員になれるように、区長会、代表区長会など、町と区長の集まりを夜に行うことはできないのか。</p> <p>2) 日中の行事のとき、勤務を中抜けしやすいよう勤務する事業所に、補助金などの損失補填はできないのか。</p> <p>3) 次期役員の人材がどうしても見つからないとき、他の地区の方に報酬を支払い、役員業務を委託することは可能なのか。</p>		
2 三春町民を減らさないために	<p>少子高齢化、人口流出などで三春町の人口は将来1万人程度まで減少すると言う予測が出ています。</p> <p>1) 現在、およそ16,500人ですが、人口が約1万人になった場合、今と同等の行政サービスを維持し続けていくことは、可能なのでしょうか。</p> <p>2) 将来、体力のない小さな自治体は、大きな自治体に吸収合併されるか、財政再建団体に転落するものと思いますがいかがか。</p> <p>3) 体力がある間に、小学校の統廃合やデマンド交通への完全移行を行うなど、行政支出の見直しも必要かと思うがいかがか。</p> <p>4) 町としては、人口減少を緩やかにする必要があると思いますが、町政を長く存続させる施策をどのように考えているのか。</p>		

令和6年定例会3月会議一般質問

No. 7		備 考
1 番	影 山 孝 男 議員	
質問事項	質 問 要 旨	
<p>1 ふるさと納税の実績と、今後の見通しについて</p>	<p>地域活性化を目的に2008（平成20）年に始まったふるさと納税について伺います。</p> <p>1）直近までの実績の推移は（企業版ふるさと納税を含む）。</p> <p>2）返礼品の内容（金額及び種類）は。</p> <p>3）ふるさと納税寄付金の、使い道内訳は。</p> <p>4）2019年から「返礼品は地場産品」「調達費は寄付額の30%以下」「寄付募集の適正な実施」の3つの基準を設定、昨年10月から新ルールに移行し、特例の事務費や寄付の受領証明書の発行費を含めて寄付金の50%以下に抑えることになったが、三春町の経費率と厳正化に伴う対応はどのように行ったのか。</p> <p>5）町の財政に直結する「ふるさと納税」の今後の目標及び、返礼品の新たな選定をどのように考えているのか。</p>	

令和6年定例会3月会議一般質問

No. 8		
3 番	大 内 広 信 議員	備 考
質問事項	質 問 要 旨	
1 三春町の消防団のありかたについて	<p>消防団は、地域の安心・安全を担う大きな地域防災の要であります。災害時の出動はもとより、定期的な夜警活動、イベント開催時の円滑な運営サポート、地域住民に対しての消火訓練や防火防災の啓発運動など、多岐にわたり地域を支える活動をしております。</p> <p>しかし、三春町も人口減少や人口流出により、消防団のなり手不足が深刻であると思います。</p> <p>そこで、消防団の団員確保や広報活動について伺いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 三春町消防団の団員数について伺います。 2) 団員確保に向けた施策や取り組みを伺います。 3) 広報活動について伺います。 4) 女性消防団組織の設立について伺います。 	
2 スポーツ少年団を推進するための取り組みについて	<p>現在、三春町にもスポーツ少年団はあります。スポーツ少年団の活動は社会体育、言い換えれば地域社会活動の一環であり、地域の活性化、地域の絆を構築していくなかで大切な活動だと考えます。</p> <p>少子化が進む中で、スポーツ少年団の数や団員数の減少が見られてきております。この状態が進むと、中学校での部活動への移行もスムーズにいかなくなることも予想されます。地域と関わりが深いスポーツ少年団活動を推進することで、スポーツに取り組む活気が生まれ、中学校・高校さらにスポーツを通じた世代間交流も進み、地域活性・地域振興につながっていくと考えます。</p> <p>そこで、三春町のスポーツ少年団の推進についての取り組みについて伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) スポーツ少年団の種目と団員数について、また、団員数を増やすための対策について伺います。 2) 地域の協力を増やすための機会等は考えていますか。 3) 指導者を増やすための対策等がありますか（田村高校の選手やOB／OGなどの参加等）。 4) 道具などの支援等がありますか。 5) スポーツ少年団と中学校の部活動連携は今後ありますか。 	

令和6年定例会3月会議一般質問

No. 9		
11番	橋本善一郎 議員	備考
質問事項	質問要旨	
1 お出かけ応援隊について	<p>三春町においても高齢化が進む中、高齢人口が増えつつあります。年齢が進むほど生活環境が厳しくなっています。このような中、生活支援のための「お出かけ応援隊」は必要ではないでしょうか。病院への通院、日用品の買い出し等、今後ますます必要とされると思いますので「お出かけ応援隊」の今後についていくつか質問いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 広域での利用はできないか。 2) 運転者の勤務時間を1日単位にはできないか。 3) 運行日を週5日にできないか。 4) 要介護者の家族同乗の上での乗車はできないか。 5) 受付、配車等の窓口業務を1か所にできないか。 	

令和6年定例会3月会議一般質問

No. 10		
8 番	松 村 妙 子 議員	備 考
質問事項	質 問 要 旨	
1 地域の災害・防災対策について	<p>1) 災害発生後、土砂崩れが発生して道路が寸断されるなど孤立する地域は、どの程度発生すると考えているのかお尋ねします。</p> <p>2) 道路が遮断され孤立地域が発生した場合、道路啓開のための計画策定や事業者との協定締結の状況についてお尋ねします。</p> <p>3) 小中学校などの避難所での避難生活ですが、最悪の事態を想定して災害が冬に発生した場合に課題となるのが低体温症の心配です。 暖を取るための対策や段ボールベッド、プライバシーに配慮したテントなどの配備の状況についてお尋ねします。</p> <p>4) 温かい食事の提供などの支援が届くまで避難所の食糧備蓄についてですが、中には塩分濃度の高いものが含まれていると思います。これは血中の塩分濃度を高めて血圧の上昇につながり、災害関連死の原因となる可能性があると言われていることから、塩分濃度の低い食糧の備蓄にも配慮すべきと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>5) トイレトレーラーの導入について</p> <p>6) 業務継続計画の策定について</p> <p>7) 受援計画の策定について</p> <p>8) 基盤的防災情報流通ネットワークについて</p>	